

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	廃棄物対策課長 近藤 一幸	電話番号	0852-22-6173
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	不法投棄等対策強化事業		
目的	(1) 対象	周辺の地域住民	
	(2) 意図	廃棄物の不法投棄防止を図り、地域の生活環境を確保する	
事業概要	不法投棄を防止するため、保健所に廃棄物適正処理指導員を配置し、監視と指導、原因者の究明に当たらせる。 不法投棄を防止するため、監視カメラを配備する。 不法投棄を防止するため、重点監視地区を設定し、住民監視モニターによる監視を行う。 不法投棄を防止するため、啓発看板を設置し、県民への啓発を図る。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	産業廃棄物の不法投棄率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
式・定義	新たに発見された不法投棄量(トン)/年間排出量(千トン)(H16年度 1588千トン)		実績値	0.00	2.70	0.90	24.20		%
			達成率		0.00	0.00	0.00		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00		%	
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	14,830	26,447
うち一般財源(千円)	9,254	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

10トン以上の産業廃棄物の不法投棄事案の発生件数は、4件(385トン)であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

廃棄物適正処理指導員が配置されて2年目となる益田保健所管内で大規模な不法投棄事案が3件（335トン）発見し、配置による効果が見られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

不法投棄が依然として発生（発覚）している。

②困っている状況が発生している「原因」

不法投棄防止啓発看板が古いもので設置から20年が経過し、一部で老朽化が見られ、啓発の効果が薄れているものがある。

③原因を解消するための「課題」

新たな不法投棄防止啓発看板の設置と老朽化した看板の修繕等を効率的に行う必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

廃棄物適正処理指導員の配置、監視カメラの配備、重点監視地区を設定し、住民監視モニターによる監視を行う事業を継続して実施する。不法投棄防止啓発看板の設置は、老朽化した看板の修繕等も含め、効率的な運用を検討する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）